

千葉市新基本計画審議会 (第6回千葉市まち・ひと・しごと創生会議) 議事録

- 1 日 時：平成28年3月18日(金) 16:00～16:50
- 2 場 所：千葉市議会棟 第5委員会室
- 3 参 加 者：《委員》10名
栗飯原希委員、北村彰英委員、下村武史委員、田村哲子委員、辻徳次郎委員、
遠山宏幸委員、村尾憲治委員、村館靖之委員、矢田玲湖委員、吉開真一郎委員
《事務局》7名
川上総合政策局長、稲生総合政策部長、藤代政策企画課長、
柿沼政策企画課長補佐、藤牧主査、加来主査、中村主任主事
- 4 議 題
 - (1) 千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略(案)について
 - (2) 千葉市新基本計画審議会答申(案)の決定について
 - (3) その他
- 5 議事の概要
 - (1) 千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略(案)について
千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略(案)について、事務局から説明した。
 - (2) 千葉市新基本計画審議会答申(案)の決定について
千葉市新基本計画審議会答申(案)について事務局から説明し、意見交換後、決定した。
 - (3) その他
- 6 会議経過

～ここから、会議逐語録～

1 開会

【藤代政策企画課長】

ただいまより、千葉市新基本計画審議会と第6回千葉市まち・ひと・しごと創生会議を併せて開催させていただきます。皆様には年度末のご多用の折、お集まりいただき厚くお礼申し上げます。本日もどうぞよろしくお願い申し上げます。はじめに、総合政策局長の川上よりご挨拶を申し上げます。

【川上総合政策局長】

本日は年度末が近く大変お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。昨年の7月27日の第1回以来、今回で第6回でございます。長きに渡り、このビジョン・総合戦略のご審議をいただき改めてお礼申し上げます。皆様からの意見を踏まえ、人口ビジョン及び総合計画の最終案をお示しする運びとなりました。本日は最終案を審議いただいた後、答申をいただくことしております。人口ビジョンでは「ちば 共創都市圏」という新しい独自の考え方を打ち出し、本市が牽引しながら周辺都市と共に圏域の将来にわたる発展と成熟を目指すということで、これを「ちばシナリオ」として設定しました。総合戦略でも重点戦略の1として、「ちば 共創都市圏で、わたしたちが果たす役割の追求を位置づけ、このほかの6つの戦略とともに展開し推進していくこととしています。また、前回の審議でご意見をいただいた生涯活躍のまち構想、CCRCについても盛り込ませていただきました。本日は最終案をご審議いただき、答申をいただきますようお願い申し上げます。結びとしまして、北村会長を始め、委員の皆様のこれまでの多大なる協力に対して、重ねて感謝申し上げます。本日もよろしくお願いいたします。

【藤代政策企画課長】

続きまして、北村会長よりご挨拶を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。

【北村会長】

昨年7月の第1回からこれまで5回にわたり、委員の皆様から大変多くの意見を頂戴し、厚くお礼申し上げます。皆様の意見を踏まえた人口ビジョン及び総合戦略の答申を行う運びとなりました。今回の人口ビジョン・総合戦略では、先程総合政策局長からありましたように、「ちば 共創都市圏」という新たな考え方を取り入れ、周辺都市との連携によって、東京でも地方でもない新しい価値観を共に創って、独自の圏域の確立を目指して行こうというもので、千葉市のこれからの成長戦略で重要になると思います。この考え方は、本創生会議の考え方と一致するものだと思います。また、その他の事項についても、委員の皆様の意見が多く反映されています。本日はこれまでの審議の集大成としての答申を提出したいと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。人口ビジョン・総合戦略策定に関わる最後の会議ということで、答申案決定の後、皆様から一言ずつ、会議に出席した感想などを頂戴したいと思いますのでよろしくお願い致します。

【藤代政策企画課長】

ありがとうございます。それでは、以降の進行につきましては、北村会長にお願いしたいと存じます。

【北村会長】

議題の審議に入る前に、本日の会議の形式について事務局から説明があります。

【稲生総合政策部長】

7月の第1回の会議で、新基本計画審議会と地方創生部会を併せて諮問という形を取りました

が、答申においても新基本計画審議会と地方創生部会を併せて開催しますので、ご承知おきいただきたいと思います。

【北村会長】

本日は新基本計画審議会としての審議になるということです。ただいまの事務局の説明に異議はありますか。

【委員一同】

(異議なし)

【北村会長】

会議の成立と公開、議事録の公表についてご報告申し上げます。本会議は委員定数11名のうち10名が出席しておりますので、千葉市新基本計画審議会条例の第5条第2項により成立しています。また、会議の公開及び議事録の公表については、前回までと同様、会議は公開、議事録は公表とさせていただきたいと思います。

2 議題

(1) 千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略(案)について

【北村会長】

続きまして、議題1、千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略原(案)について事務局より説明をお願いします。

【稲生総合政策部長】

前回の原案からの変更点と、2月15日から3月15日まで実施したパブリックコメントについて説明させていただきます。パブリックコメントに対する市の考えは今後まとめていく予定ですが、基本的に戦略に直接反映させる意見はなかったと考えています。詳しくは後ほど藤代課長から説明させていただきます。

まず、人口ビジョンについて今回変更はありません。総合戦略の変更点について、細部の表現の修正、調整等は省略し、大きな変更のあった2点について説明します。まず、本編の111ページ、施策(3)アクティブシニアの活躍推進をご覧ください。前回の会議で、稲毛区のスマートコミュニティの話も頂戴いたしました。最初の段落は前回から変わりありませんが、そこに加える形で「日本版 CCRC」以下の記述を加えています。背景を申し上げますと、現在国会で地域再生法の一部を改正する法律案が出されています。この法律案では、これまで「新型交付金」として耳にされたこともあるかと思いますが、28年度以降の地方創生に係る交付金について、地域再生計画を複数年度で策定することが可能となり、内閣総理大臣が承認するものに対して交付されることとなります。総合戦略に記載している事業全般が対象となりますが、先駆的な事業として、官民協働や地域間連携が求められています。また、「生涯活躍のまち」制度をこの法律の中で定めようとしています。従来は大都市から地方への移住を促す表現のみで議論がされてきましたが、地域再生法の一部改正では、地域内で近隣から「まちなか」に住み替えるケースも想定しています。「日本版 CCRC 構想有識者会議」で検討されている、「生涯活躍のまち」の制度化が進められていることを踏まえまして、本市でもその趣旨をいかに実現していくべきか検討していくべきだろうと考えました。また、会議でも取り上げられたように、スマートコミュニティという民間企業の先行事例があるほか、千葉大学のCOC事業で高齢者が参加する地域防災や団地再

生などがフィールドスタディとして行われており、まさしくアクティブシニアの活躍推進に係るものと捉え、併せて記載しました。

もう一点は129ページに(3) ICT・先端技術の活用という項目を追加しました。前回の会議で、千葉市として市長以下、全庁的にICTの活用に取り組んでいることを、計画の中に明確に示せないかというご意見をいただきました。一つの施策として扱うことに少し無理があったため、総合戦略の推進に向けてという中で、ICT・先端技術の活用は今現在もそうですが、今後も引き続き取り組んでいくというまとめ方をしました。内容としては、地方創生の実現に向けて客観的なデータ、エビデンスに基づき地域の現状を把握するため、国からも「RESAS(地域経済分析システム)」が提供されており、データ分析により、地域課題の可視化、共有化を行うこと。さらに「課題抑制型」の行政運営が市民理解の促進にも資するものになるということ。このほか、IoTやAI、ロボットといった先端技術を、様々な分野で活用する動きがあります。本市も国家戦略特区として、ドローンやパーソナルモビリティを幕張において活用することを提案しています。そのような背景も踏まえ、これらの先端技術は社会的な課題を乗り越えるための手段として大きな可能性を秘めているほか、イノベーションによる生産性の向上や関連産業の振興に繋がると考えており、総合戦略を推進する上で必要な視点だと考え、掲載しております。

今回変更を加えたところは以上の2点となります。続きましてパブリックコメントで寄せられたご意見について概要を説明します。

【藤代政策企画課長】

資料4を用いて頂戴したご意見を説明し、事務局の考えを簡単に補足したいと思います。意見は合計8件です。

1件目はデータ分析を用いて、エビデンスベースのものを用いたということは評価します。ただし、これを運用していく人材を育てることが課題であるという意見です。我々としても、データを用いた分析は今後も続けていく必要があると認識しており、行政内部として取り組むべき課題として、データの活用について市民に広く示していこうと考えています。

2件目は「“ちば”共創都市圏」を分かりやすい表現にはどうかというご意見ですが、コンセプトのある表現として使用しているため、平たく言い換えるのではなく、しっかりご理解いただけるようPRに努めて参りたいと考えております。

3件目はハラール食を含めたムスリム対応について、特定の宗教に加担しているのではないかというご意見ですが、既に多くのムスリムの方が千葉市を訪れ、居住している状況で、共生社会を実現するための手段として必要であり、経済的な効果もムスリムインバウンドというのは目指すべき方向性の一つだと思っておりますので、特定の宗教に加担するものではないと説明して参ります。

4件目は「地産地消の推進」の中で新規就農者への支援策の充実を図るべきとのご意見ですが、新規就農者を増やすための施策は戦略に盛り込まれていますので、お読みいただいたところが違っていたのかなというところで、ご説明をして参ります。

5件目は子どもを産み、育てたい社会をつくるのであれば、子どもたちにとってはどうなのかも考え、子どものイニシアティブが必要であるというご意見だと理解しています。千葉市は子どもの参画に以前から取り組み、成果を出していると思っております。このことは戦略にも記載しているのですが、全ての具体的な事業を載せることはできないので、事業展開を進める中で千葉市の

姿勢をご理解いただけるよう努めていきます。

6件目は保育士の確保のために居住費の支援等を検討してはどうかというご意見です。今まさに国会等でも取り上げられていますが、保育士の確保は以前から取り組んでいる事項であり、さらに取組みを進めるために必要な拡充施策があれば検討していきたいと思います。

7件目は子どもルームの拡充について、スペースの確保など、量の拡充だけではなく質の向上が重要であるとのことのご意見だと捉えています。千葉市は保育所を含め、量を充足させれば良いという考え方はしておらず、必ず質を伴った量的充足を進めるようにしているので、スペースもしっかり確保していくとお答えさせていただきます。

8件目は「オリンピック・パラリンピック・レガシー」についてレガシーという言葉が一般的ではないとのことご指摘ですが、オリンピックと結びついたものとして使われる表現でございます。これから我々がオリンピック、パラリンピックに向けてより一層の取組みを進めていく中で、レガシーをテーマとして何をやっていくのかご理解いただくことが重要であるため、特に修正は考えていません。

以上、戦略の修正は考えていないということで説明させていただきました。

【北村会長】

ただいま、事務局から千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略原（案）について説明がありました。主な変更点としてはCCRCとICTについて追加したということです。また、パブリックコメントについて、特に戦略を書き換えることはしないということです。今の説明に対してご質問はありますか。

CCRCについてはちょうど本日、シンポジウムの記事が大きく出ていましたが、地方の取組みに関するものばかりでした。将来的には都市部でも推進されると考えても良いのでしょうか。

【稲生総合政策部長】

将来というより近い将来という感じはしています。メインは確かに都市から地方へというニュアンスは残っているものだと思いますけれども、それだけではない展開を考えており、会議の中でもそのような考えがまとめられていると思います。

【北村会長】

ICTに関しては、かなり具体的に書き込んでいただいたので良いのですが、「RESAS」は今後どのように活用されるのでしょうか。上手く使えば多くの情報が得られると思います。

【稲生総合政策部長】

「RESAS」は国も段階的に内容を充実させてきました。地方創生は内閣府においても、データ、エビデンスに基づいた考え方を色濃く出しています。「RESAS」の今後の活用については自治体を交えた何らかの検討会を立ち上げて、活用できるよう動き出す予定です。

【北村会長】

パブリックコメントについてご意見はありませんか。全体として、あまり厳しい意見はなかったという印象ですが、市の職員に未来志向型の柔軟な思考力を持つ人を育てることが課題という意見がありますね。こちらは市の方で考えていただきたいと思います。また「ちば 共創都市圏」という言葉に馴染みがないとありますが、周知していくことが重要になると思います。

【村尾委員】

パブリックコメントの件数はこれが全てでしょうか。これくらいの件数が普通なのですか。

【稲生総合政策部長】

少ないほうだと思います。

【村尾委員】

もう少し反応があっても良いと感じました。

【稲生総合政策部長】

今後、データを活用して、現状や将来について市民と共有することが次の最重要課題だと思っていますので、年度が明けてから動き出そうと考えています。

【北村会長】

今回、数は少ないですがニュートラルな意見が多いと感じました。他にご意見はありますか。ないようでしたら次の議題に移りたいと思います。

(2) 千葉市新基本計画審議会答申（案）の決定について

【北村会長】

議題2に移りまして、千葉市新基本計画審議会答申（案）の決定についてですが、委員の皆様
の意見をもとに事務局が作成しました。事務局から説明を受け、その後審議、決定をしたいと思
います。

【稲生総合政策部長】

資料を読み上げさせていただきます。1ページ目は、千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジ
ョン・総合戦略について、慎重に審議した結果、下記のとおり答申します、ということで答申の
本文は次ページ以降となっています。

答申本文を読み上げさせていただきます。

現在、日本が直面している人口減少は、少子高齢化を伴いながら、急速に進行しています。先
頃公表された、平成27年国勢調査の速報では、国勢調査開始以来初の人口減少となり、改めて
国全体での人口減少局面が明確となりました。千葉市では人口増加を維持したものの、前回調査
対比での伸び率は過去最低となり、花見川区、若葉区、美浜区の3区では人口減少となるなど、
「人口減少の波」は、早晚千葉市にも及ぶものと考えられます。

こうした節目にあって、当審議会が、人口減少社会への処方箋ともいえる「千葉市まち・ひと・
しごと創生人口ビジョン及び総合戦略」について、市長より諮問を受け、審議を行いましたこと
は、大変意義深く感じており、その責務を強く認識したところであります。

「人口ビジョン」については、精細なエビデンスに基づき、千葉市やその周辺都市についての
現状分析が行われており、その上で千葉市の独自性に基づいた方針が打ち出されています。

特に、人の動きの分析に加え、千葉市の地域経済の特徴を明らかにし、産業振興と人口減少対
策を結び付けて方向性を示している本案は、非常に踏み込んだ内容として、高く評価するところ
です。

また、本案では、人口の将来展望として「ちばシナリオ」を提示しています。

「2060年に人口84万7千人を確保する」

この実現に向けては、特に合計特殊出生率の向上の面で非常に困難な目標であると考えます。
しかしその状況ですら、人口減少は避けられず、労働力人口、就業人口も大きく減少し、市の経
済、財政に与える影響は、年を追って大きくなることも、同時に理解するところです。

この困難なシナリオを実現するためには、ひとり千葉市のみの取組みでは不十分であることは言うまでもありません。国や県との連携は勿論のこと、周辺都市との連携により圏域の総合力を高めていくことが重要であります。

その点からも、“ちば”共創都市圏の確立という圏域の独自性を活かした方向性は、まさに地方創生の趣旨と合致するものであり、強力に進められることを期待します。

「総合戦略」については、地方創生に向けた市の基本姿勢となる「都市経営の3方針」と、施策の「選択と集中」を図り「ちばシナリオ」を実現していく「7つの重点戦略」で構成されています。

本案は、“ちば”共創都市圏の確立という考え方を、重点戦略1としてベースに据え、その他「まち・ひと・しごと創生」に資する施策を6つの重要な角度から束ね挙げたことで、いわゆる総花的な印象を払拭し、県都、政令市として行うべき施策が十分に明文化された内容と評価します。

特に、当審議会の委員から要望の強かった、「子ども・若者」や「外国人材の活用」、「ICTの活用」、「働き方改革」、「生涯活躍のまち」といった視点については一定の言及がなされており、今後も積極的な事業化を期待するところであります。

国家戦略特区の活用については、千葉市の地方創生を強力に推進する起爆剤となることが期待されます。住民や関係者の理解を十分に得ながら、目的・目標を明確にして、進められることを求めます。

以上を踏まえ、当審議会は別添の「千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略(案)」を、妥当なものとして答申いたします。

なお、市におかれては、「まち・ひと・しごと創生」の推進に当たって、次の点に留意していただくことを求めます。

1. 市民へのPR、認識の共有について

「まち・ひと・しごと創生」の取組みは、市民や関係団体、民間事業者等、都市の様々な主体が、自ら積極的に行動を起こすことによって、初めて成されるものであります。本案で示された現状分析や将来の見通し、施策等については、ただ公表して終わりにするのではなく、これまで以上に積極的なPRを実施し、その手法も工夫していただくことで、広く認識の共有を図られることを要望します。

2. 総合戦略の実効性の確保について

「まち・ひと・しごと創生」の要諦は、明確な基本目標、業績評価指標に基づき、事業の進捗を管理し、適切なPDCAサイクルを働かせていくことにあると考えます。7つの重点戦略において示された施策、具体的事業は、不断の見直しによりさらに精度を高め、実効性あるものとされることを要望します。

3. さらなる地域連携、“ちば”共創都市圏の確立に向けて

本案において示された、地域連携の取組みは、これから長期にわたり展開されるべき取組みの、まだほんの足掛かりに過ぎないものと思料します。今後は、行政分野に聖域を設けず、あらゆる角度から連携を模索し、実行に移していくことで、さらなる行政運営の効率化や、圏域の総合力の発揮、魅力ある地域・圏域の創生へとつなげていただくことを期待するものであります。

以上、特に後半に3点に意見をまとめ、今後の留意点としました。

【北村会長】

事前に目を通していただいていると思いますが、「総花的な印象を払拭し」というところが、当初の「拭えない」という表現から変更され良くなったと思います。ご意見、ご質問等ありますか。ないようでしたら、千葉市新基本計画審議会の答申案として決定いたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【委員一同】

(異議なし)

【北村会長】

ありがとうございます。この答申案を千葉市新基本計画審議会の答申として決定させていただきます。

それでは最後に、委員の皆様から会議に出席されての印象、感想、将来に向けての思いなど一言ずつ頂戴したいと存じます。

【田村委員】

私は40年前に商工会議所に加入し、保母として働いていた経験もありますことから、女性や子どものことについて考えてきました。最近では女性の経営者が増え、女性も働きやすくなったと思います。そんな中この会議に参加し、女性の働く場や、女性にとってより働きやすい環境にするためにはどうしたら良いか、住みたいと思える魅力あるまちづくりについて考えるようになりました。色々な発言を施策に盛り込んでいただきありがとうございます。今後のまちづくりに活かしていただきたいと思います。

【矢田委員】

会議に参加し、様々な分野の方の意見を直接聞くことができ非常に勉強になりました。私は千葉市が地元では無いのですが、会議に参加させていただく中で千葉市の魅力についても色々なお話しをお伺いすることができました。人口ビジョンには労働力人口の不足についてしっかり書き込まれていますし、総合戦略に人材育成や中小企業の人材確保の施策、働き方改革にも触れていただきましたし、答申にも働き方改革の視点ということで入れていただき、労働行政としてありがたいと感じています。今後も千葉労働局として、千葉市の総合戦略の施策に全面的にご協力させていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

【吉開委員】

人口ビジョンは緻密なデータ分析に基づいていますし、総合戦略は各分野の専門家の委員の意見が取り入れられたと思います。また、私は千葉市に来たばかりなので、皆様の意見を聞くことで千葉市について知ることができました。答申に積極的なPRを実施するとありますが、なかなか難しいことだと思います。データに基づく施策であるということ。思い込みではなく、きちんとした分析に基づくものだとすることを節目節目でPRされていくということが、市民の方に対しては大事ではないかなという気がいたしました。

【辻委員】

労働団体の代表という立場から、働く人の現状に焦点を当てながら参加してきました。答申の最後に市に求めることが3点書かれていますが、その通りだと思います。よく私どもの業界で言いますのは、1人で100歩歩くよりも、100人が1歩歩いて皆でやっという考え方があります。非常に良い総合戦略ができたと感じていますが、協力者を増やしていくことが大事な取組みになると思います。いずれにしても様々な分野の皆様のご意見を伺いながら勉強させて

いただきまして、大変ありがとうございました。

【村尾委員】

私は市民代表で、このような会議に参加するのは初めてでした。多方面の専門の方と直接出会う機会となり、高校に視察に行ったり、市職員の方と話す時間があったりと、全体を通して多くのことを吸収できましたし、市民の目線で思ったことを言うことができたと思っています。人口ビジョン、総合戦略ともに全体の内容は立派なものになりましたが、カバーする領域が広く、議論を深める時間が少なかったと感じました。今後は賛否が割れるものや、しっかり議論すべきものに、より時間が使えるような仕組みを検討してはどうかと思いました。

【栗飯原委員】

私も始めて審議会というものに参加しましたが、委員が意見、提案したことを、施策に盛り込んでもらえることに感動しました。初めて市民参加できた気がしたので、感謝しています。私は大学院で環境政策や市民参画の研究をしていたのですが、都市のコンパクト化や子どもの参画について反映していただいたので良かったと思っています。

【下村委員】

地域金融機関として参加させていただきました。総合戦略については、K P I や達成状況を目に見える形で示し、対応策を具体化していくことが重要です。また、千葉市が国家戦略特区になったことを起爆剤に、新しい風を吹き込んでいただきたいと思います。

【遠山委員】

委員の皆様と事務局の努力で、出来栄の良い人口ビジョン、総合戦略になったと思います。今後は施策に魂を打ち込んでいくと言いますか、施策を遂行する段階となりますが、答申に書いてある通り実効性の確保ということに尽きると思います。多くの具体的事業がありますが、4月から一斉に始まる訳ではないと思います。129ページにある重要業績評価指標（K P I）検証のあり方という項目がありましたが、今後は地域金融機関として、施策の遂行の方に注目していきたいと思います。

【村館委員】

若手研究者として初めてこのような会議に参加したのですが、皆様の意見は非常に参考になりました。総合戦略にI C Tの活用について盛り込んでいただき良かったと感じています。ドローンや国家戦略特区の構想は国際的にも注目されています。また、人口ビジョン、総合戦略に地方創生のキーワードである共創だけではなく、共生という言葉も使われていることが印象的でした。共生について、障害がある人もない人も一緒に住むことができる千葉市をつくってほしいという視点が、128ページに書き込まれており、大変感銘を受けました。

【北村会長】

私からは、最初に事務局の能力の高さに驚いたことを申し上げておきます。このような会議では、委員から様々な意見が出るため、全ても意見を反映させることは難しいのですが、今回の会議では、各委員が発言したことをできる限り取り入れようという姿勢が強く出ておりうれしく思いました。また、結果として委員の意見をうまく取り込んでいただけたと感謝しております。委員の皆様には前向きな意見を出していただき、非常にスムーズに会議を進めることができたことについても感謝申し上げたいと思います。

私は千葉市に住んで35年ほどになりますが、今回色々と勉強させていただき、改めて千葉市

は潜在能力のあるまちであると感じました。“ちば”共創都市圏という言葉が気に入っていきまして、市原市、大網白里市、四街道市など周辺市と力を合わせることで千葉市の発展に繋がるということで、是非実現に向けて取り組んでいただきたいと思います。今後どうぞよろしくお願いいたします。

(3) その他

【北村会長】

最後、「その他」です。事務局から何かございますか。

【藤代政策企画課長】

総合戦略は実現化の過程に入っていきますが、K P I や総合戦略自体が陳腐化しないよう、時代の状況に合わせて調整、上積みをする可能性があります。戦略を上手く回していく仕組みを考えており、今回のような会議を引き続き設けることで内部調整をしているところです。年度が明けてから皆様に委員の就任をお願いにあがるかもしれませんので、その際はご検討のほどよろしくお願い申し上げます

3 閉会

【北村会長】

以上を持ちまして、本日の会議は終了とさせていただきます。

以上